

進撃の巨乳カサ

attack-on-milkasa

巨乳





あらすじ

トロスト区攻防戦で
エレンが巨人の力を覚醒させ、
巨人に勝利した後のとある日の夜…

ミカサは湯浴みをしながら考えていた。

「エレンの寝顔を舐めたい…」

巨人を退けた事で安堵した為なのか
よくこんな事を思っているのかは
不明だが
ミカサは今夜エレンの寝室に
忍び込む事を決めた。

そしてミカサの
とある物語が始まる…



進撃の
ミカサ
巨乳

attack-on-titan

どうしよう…
こんなはずじゃ…

でもこれなら
エレンを誘惑できるかも…

そんな事考えてる
場合じゃなかった!

…ん…
ミカサか…?

どうしたミカサ?
なんで俺の寝床に…?

エレン…

なっ…
なんでもない…

…やっ!
駄目っ!

…ん?どうした?
こっち向けて…

何隠してん
だよ？

ハッ
ツ

どうしたんだよ…

なん…
だと…っ！

その…胸…

何故か話すのを強く拒否してたが
それでも無理やり
ミカサに話を聞いたたら…

…ふと…
寝てるエレンの
顔を見たくなって…

フグー…

忍び込んで…
寝顔見てたら…



…それで…寝汗とか…
よだれとか舐めてたら…



…もしかしたら
エレンの体液飲んだら
巨人の力私にも
宿るかなって思ってた…



巨人化してしまった…



何故か乳房だけ





し…試飲…

ミカサお前っ…
何やってんだよっ!?



…って



グググ



うっ!

そんな
顔でっ…!

でかくなった
おっぱいを

これじゃあ上手く
巨人と戦えない…

どうしようエレン…
こんな事になるなんて…

ムニユウ



押し付け
られたら…っ!

びく





エツ…!!

エレンツ…!?

なあミカサ…っ!

ユリ

俺は巨人になる時…
巨人になって
どうしたいか考えるんだ

ム

…んっ!



何をしたいか考えると
それに応じた形の
力を持った巨人になる…

ミカサは考えたはずだ…
ここがこんな風
なる様な事を…

欲求を解消すれば
元に戻るかもしれないから…
何考えてたのか言ってみろ

その触り方っ…
駄目っ!

ハ

ハ



エレンをもっと
感じたい…

…私…の
考えていた事…

…そしてエレンに
…もっと…

ふわ

…私…

すっ

…私は…

もっと私の事を
見てほしいっ…
エレンに愛されたいって…







ミカサの
エロい顔が…



これすごい…

おっぱいの弾力と
舌のヌメリと…



ちよつと
待ってくれ…!

これじゃあすぐ
逝っちゃう…

くちとおっぱいで
…イって…





すっ…っ！

エレンの濃い
精液飲んだら…っ！

エレンの巨人おちんちんで…
掻き乱してほしいって…

ハア

精液で満たしてほしいって…
下の口から涎が
止まらなくなったのっ…

ハア

すごく
疼いてるの…

すっ

どうした
ミカサっ!?

だから…はやく入れて…
…受精させて…お願い…

ムッ

ムッ

ムッ

ムッ



俺もミカサの中
全部満たしたくて
たまらないっ！

…ああ！
ミカサだけじゃない…！

…っ！！

ん
ん



すげえ…トロトロしてて…
エロい匂いがする…

こんなトコに入れたら
俺溶けちゃうかも…

んちゅ

んちゅ

…それじゃあ…
いれるぞ…

…うんっ…
頂戴…

私もエレンと
一緒に溶けるから…

ああうっ!

すごいのは
はいつてきたあつ!

こんなおっきいの
…進撃してきたらっ!!!

駄目っ!
ダメエっ!

ズ
ズ
ズ
ツ

び
び
び
ッ

び
び
び
ッ

ズ
ズ
ズ
ッ





んああっ!

びんびん

びんびん

びんびん



入れたただけで
いったのか?



エレンとひとつに
なれたのが

ハア

ハア

うれしかったから...



もっと気持ちよくなつてくれ!

エレンっ!
もっと深くっ!

ズグツ

奥まで
掻き乱してっ!

ズグツ

ズグツ

ズグツ

すごい
突いてくるううっ!

あううっ!

びん



もっと…私の事…
私の全部を…見て…

ハア

ハア

ミカサ…

私も…
私も…っ!

ズ
グ
グ
ッ

エレンの身体で
感じて…

ズ
グ
グ
ッ

ズ
グ
グ
ッ

ズ
グ
グ
ッ

私もエレンを…
もっと感じたい…

においも…視線も…
身体も…心も…もっともっと



ズ
ズ
ズ

エレン…
愛してる…!

誰よりも…何よりも…
愛してるっ…!



ちゅ

んっ…!



ん
ちゅ



ズ
ズ
ズ

膣がっ…
締め付けてくるっ…!!

もっと激しく
突いて…っ…!

ズ
ズ
ズ

本当に俺をいっぱい
感じてくれてるんだな

ハア
ハア
ハア

ハア

ハア

びゅ
ん

ミカサの膣熱くて…
締め付けてるのに
トロトロでっ！

もう逝きそうだったっ！

私も

私も逝きそうだったっ！

シシ

シシ

うんっ！
感じさせて！

エレン中に出してっ！
精子たくさん注いでっ！

ああ！一番奥に
出すからっ！

俺をいっぱい
感じてくれっ！

シエ

びん

びん

っぽっぽっ！
っぽっぽっ！！





…すごく気持ちよかったよ…
ミカサはどうだった？

ハア

ハア

エレンの事いっぱい感じて
すごく気持ちよかった

これからも…
私だけにエレンの事
たくさん感じさせて

ああ…
家族だもんな

そんな愛妻だなんて…
エレンは気が早すぎる…

まだそこまで
言っていないだろ…

…エレン？

…いや…
なんでもない…

あとがき

どうもこんにちは。
うまのほねのうまさんです。

本作をお手にとって頂きありがとうございます。

今回は進撃の巨人をテーマにミカサのおっばいな物語を描かせて頂きました。
なんだか今回はすごく巨乳が描きたくなったのでミカサのおっばいをおっきくしてみましたがおっきいおっばい描くのは楽しかったです。

ちなみにうまさんは進撃の巨人をアニメで見始めたので
あえて原作を読まずに毎週先を知らない状態でアニメをわくわくしながら
見ていたのですが、今回の作品を描き始めた時には「トロスト区攻防戦」の後
どうなるのかまったく知らなかったため、この話の始め方でよかったのか不安でした。
そして締め切りが近くなってきてアニメをみる時間がなくなってしまったので
トロスト区攻防戦の後結局どうなっているのかこの後書きを書いている段階では
まだ知りません。。。

はたしてこの二次創作がストーリーのどこかにはいっていても矛盾がない状態なのか…
これからアニメを見て確かめてみようと思いますw

それではまたどこかでお会いいたしましょう。
うまさん

ちょっとどうでも良い話。

ちなみに今回は老虎氏にトーン関連で
お手伝いをして頂いたのですが、
その時に「感じたい」という台詞を
「感じたい」と誤表記しているのを発見して頂き
印刷前に修正をする事が出来ました。

ただその時の博多弁みたいになっていた
誤字が互いにさになっていたのか
老虎氏のお手伝いが終わった時に
右の画像を送って来てくれました。

方言萌え属性の疲れていたうまさんは
もらった画像をみて
自分で描いた絵ですごくドキドキして
しまったので、
記念に後書きに残しておこうと思います。

老虎さん手伝って頂いてありがとうございました。



進撃の三カサ

attack-on-milkasa

26

発行日 : 2013年8月11日
印刷会社 : プリンティングイン株式会社様
発行サークル : うまのほね
著者 : うまさん
ホームページ : <http://umagoya.x.fc2.com/>
ブログ : <http://umasannoblog.blog65.fc2.com/>
mail : umanohone.uma3@gmail.com

本書を発行者の許可なく無断で複製や複写、インターネットへのアップロード行為、および転載する事を禁止します。





巨乳 進撃の三ツツツ

attack-on-mikasa

for ADULT ONLY

サークル うまのほね

作 うまさん

サークルHP うまごや

<http://umagoya.x.fc2.com/toppage.html>